

12カ国から技術者が参加

JICA道路維持管理研修

JICA沖縄国際センター(柏谷亮所長)は10月26日、浦添市の同センターで2015年度課題別研修「道路維持管理(C)」の開講式を開いた。研修は海外の発注機関の道路維持管理業務担当者を対象にしたもので、今回の研修には12カ国から技術担当者が参加した。

同研修はJICA沖縄国際センターが昨年から実施しているもので、NPO法人グリーンアース(鈴木浩一代表理事)が業務委託を受けて研修事業を行っ

ている。今回の研修には12カ国から12人(うち女性3人)が参加した。開講式で柏谷所長は「今年で当センターは設立30周年を迎える。

研修に参加される皆さんは、センター職員に気楽に声をかけて交流してほしい」と挨拶し、沖縄での生活に向けて①健康管理に気をつける②現地の文化交流イ

ベントへの参加一を助言した。研修を担当するグリーンアースの鈴木代表理事は「研修は行政や民間事業者など多くの方々の協力により非常に充実した内容になっている。たくさん

について学ぶとともに、沖縄の自然や文化も楽しんでもらいたい」とエールを送った。

今回の研修では同日から12月11日の閉講式の約50日間にわたって、県内の道路整備について、座学と現場視察を織り交ぜた幅広い内容について学ぶほか、前回参加者からの意見も踏まえて、県外の道路整備・維持管理状況の視察なども行うとしている。



道路維持管理研修参加者と関係者の皆さん



9日には泊高橋の現場視察も行われた